



見つけなおして! 知らず知らずのうちに加害者に!?

～軽はずみな発言が招く落とし穴～

SNSは、いろいろな人と話したり、意見を言ったりできる便利な場所ですね!

でも、自分の発言が知らないうちに相手を傷つけることもあるから、気をつけたいですね!

どうすれば皆さんが楽しくSNSを使えるか、一緒に学んで生活の中でぜひ意識してみましょう!

先生からの基礎知識!

◆「誹謗中傷」は「批判」「非難」とは違う!

誹謗中傷: うそやひどい言葉で、わざと人を傷つけることです。

★悪口を言ったり、ネットでいやなことを書いたりして見たり聞いたりした人はとても悲しい気持ちになります。

批判: ものごとをよく検討をしたあと、それについて判定や評価をして相手に伝えることです。

★大切なのは、相手を傷つけるのではなく、役に立つ意見を伝えることです。

非難: 悪いことをやめさせるためにきびしく注意することです。

★悪いところを教えるけれど、どうすればよくなるかまでは教えないため改善にはつながりません。



なぞなぞの時間

はたして君は正解できるかな?



書かれてある文章は「誹謗中傷」「批判」「非難」のそれぞれどれにあてはまるかな?

- ①「発表がつまらなかった」
 - ②「Aさんは発表が下手だから、グループにいらない。」
 - ③「発表では声をもう少し大きくすると、みんなにもっと伝わるよ!」
- ※答えは一番下にあるよ

秘伝!! ではなく皆に広めるべし!!

SNSを気持ちよく利用するための『攻略法』

其の1. 『名前を出さなければ大丈夫』は今は通用しません!

最新の技術を使えば名前を出さなくても、その発言をした人を調べるので、悪いことを言ったりするとバレてしまいます。

だからネットでも、学校や家でお話するときと同じように、

「ありがとう」や「すごいね!」だったり意見が違ってても

「そんな考えもあるんだね」など思いやりのある言葉を使うことが大切です。



其の2. 『強すぎる批判』は「誹謗中傷」ととらえられるかも!

「言葉は刃物」という言葉を知っていますか?

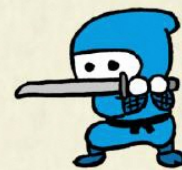
「言葉が人を傷つけることがあるよ」という意味です。

みんなが見るネットやSNSで、正しいことを言おうとしすぎて、

強い言い方になってしまうことはありませんか?

何かを言う前には「この言葉で誰かを傷つけないかな?」と

必ず一度考えることが大切です。



文字は感情が伝わりにくいものです。常に「自分が言われたらどう思うか」を考えながら発言しましょう!

